

平成30年度第12回 感染症発生動向調査部会
議事要旨

1 日 時 平成31年3月20日（水） 14:00～

2 場 所 岐阜大学医学部本館 1階 入札室（岐阜市柳戸1-1）

3 出席者

委 員 : 馬場 尚志（岐阜大学医学部附属病院 生体支援センター 副センター長）
大西 秀典（岐阜大学医学部附属病院 新生児集中治療部 准教授）
澤田 明（岐阜大学医学部附属病院 眼科 講師）
加藤 達雄（国立病院機構長良医療センター 呼吸器内科統括診療部長）
オブザーバー : 川部 京子（岐阜市保健所地域保健課 感染症対策係長）
事 務 局 : 居波 由紀子（保健医療課 感染症対策係長）
上津 ひろな（保健医療課 主任技師）
田村 直彦（保健環境研究所 疫学情報部長）
酢谷 奈津（保健環境研究所 専門研究員）

4 議 題 （進行：加藤委員）

- (1) 2019年第6週～第9週、2月の感染症発生動向について
- (2) その他情報提供

5 議事要旨

【2019年第6週～第9週、2月の感染症発生動向について】

- ・事務局からの報告と委員のコメントについては資料のとおり。
(委員からのその他のコメント等)
- ・結核患者のうち20～30歳代は外国人が多いとのことであるが、集団事例の発生はないか。
→ (事務局) 集団事例の報告はない。

【その他情報提供】

○感染症関連通知等

- ・事務局（保健医療課）から下記通知等について情報提供
 - ・インフルエンザ警報の解除について（報道発表）
 - ・法施行規則の一部を改正する省令の施行に伴う各種改正について
 - ・獣医療関係者における動物由来感染症の予防を目的とした啓発資料の作成について（情報提供）
 - ・乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチンの流通に係る対応について

(委員からのコメント等)

- ・新たな疑似症定点の報告件数の見込みは1医療機関あたり年0～数件とされているが、疑似症の

定義を見ると、届出に該当する症例はもっと多いと思われる。

→（事務局）疑似症サーベイランスでは、原因不明の重症感染症の発生を把握することを目的としており、届出は、患者の症状、渡航歴その他の情報を総合的に勘案して行うこととされている。このことから、国では現時点では1医療機関あたり年0～数件と見込んでいるが、疑似症の定義に該当する患者の届出を妨げるものではない。

・MR ワクチンの流通に関して、基本的には小児の定期接種を優先するという考え方でよいか。

→（事務局）ワクチンの供給が不足した場合は、小児の定期接種を最優先とする。成人男性の定期接種分は、来年度初めから秋ごろまでは不足する可能性があるが、秋以降は解消される見通しである。